

---

## プレスリリース

---

ロンドン、2021年9月9日午前0時1分

### バックログの処理がプラチナ供給の回復を後押しし、自動車および工業需要の堅調な成長を上回るため、2021年はやや余剰

- 新型コロナウイルス感染症の影響からの回復により、世界需要は、自動車および工業セクターを中心に2020年第2四半期比23%増加
- 2020年の工場停止によるバックログの処理が予想以上に早いため、供給は55%増加、2021年第2四半期および通期予想はいずれも余剰
- 記録的な2年間の後、投資需要は後退したが、新型コロナウイルス関連の取引所在庫の増加が繰り返されなかったため、コロナ禍前の平均を上回る水準を維持

ワールド・プラチナ・インベストメント・カウンシル（WPIC）は本日、2021年第2四半期の *Platinum Quarterly* を発表し、2021年の予想を修正しました。

2021年第2四半期の世界需要は、自動車および工業セグメントを中心に、過去3四半期に見られた需要の前年比成長トレンドが継続しましたが、鉱山操業の稼働率が97%となり、2020年の工場停止中に累積した原材料の処理が予想以上に進んだことが加わって、供給が需要を上回り、当四半期を5トンの余剰で終えました。

経済産出高の回復は最も楽観的な成長予想を上回るほどで、プラチナ需要はその恩恵を受けました。これは年内続くと予想されています。2021年第2四半期のプラチナ需要は前年同期比で急増し、23%（11トン）増の59トン、2021年通期予想は前年比1%（2トン）増の241トンとなりました。

リサイクル供給はコロナ禍以前の水準をまだ完全に回復していませんが（2019年第2四半期比13%減）、世界の鉱山供給は前年同期比65%（19トン）増加しました。この背景には2020年の工場停止で生まれたバックログが予想以上に早く処理されたことと、精錬運転在庫1トンの減少があります。プラチナの半製品在庫16トンのうち2021年に処理されるのが従来予想の6トンではなく、9トンになる予定であるとの報道を鑑みると、今年の供給は17%（35トン）増加し、2021年は6トンの余剰になると現在予想されています。

#### 半導体不足にもかかわらず、自動車需要は75%増加

世界の自動車生産がパンデミックの影響から回復したため、2021年第2四半期の自動車需要は前年比75%（9トン）と大幅に増加しました。継続した半導体不足によって、世界中で自動車生産の停止がなければ、プラチナ需要は推定2トン高い水準であったと思われる。

ディーゼル車の販売台数はさらに落ち込んでいるにもかかわらず、ユーロ6dの実施およびパラジウムの代替としてのプラチナ需要が多少増加したため、自動車用プラチナ需要は特に欧州で増加しました（82%、4トン）。また、北米でも、自動車生産が急増したため、プラチナ需要は130%（2トン）急増しました。今年、この需要カテゴリーでは前年比22%（16トン）増、2019年比でも2%（2トン）増と順調な回復が予想されています。

#### 工業需要は46%増、コロナ禍前の水準を上回る

新型コロナウイルスの影響からの回復は特に工業セグメントで顕著で、前年比46%（6トン）増、2019年第2四半期比でも10%（2トン）増となりました。工業用途におけるプラチナの使用は、2021年に25%（15トン）増加すると予想されています。

世界経済の回復の勢いが増し、消費者の石油需要が高まっているため、プラチナの石油需要は倍増以上になりました（1 トン）。この傾向は、プラチナの石油需要が 2021 年には 65%（2 トン）回復することを示しています。一方で、2021 年第 2 四半期のプラチナ需要のうち、化学分野は前年同期比 83%（3 トン）増、ガラス分野は 39%（1 トン）増、2021 年通期予想も同様にそれぞれ 14%（2 トン）、69%（8 トン）増加する見通しです。

**2020 年第 2 四半期に低調だった宝飾品は力強く回復したが、中国の低迷が響く**  
宝飾品製造は、2021 年第 2 四半期に、欧州の需要が旺盛で 125%（1 トン）増、北米 141%（2 トン）増を中心に、19%（2 トン）増加しました。これには消費者のセンチメントの改善、経済の回復、婚礼の再開が寄与しました。対照的に、中国においては金との熾烈な競争、新型コロナウイルス関連の混乱によって、25%（2 トン）減少しました。

2021 年の世界のプラチナ宝飾品需要は、4%（2 トン）増加する見通しです。最も増加が予想されるのは欧州（20%）および北米（35%）です。同様に、こうした健全な増加は、中国で 14%（4 トン）減少が予想されるため、相殺される見込みです。

## 2 年間の好調の後、投資需要は落ち着く

2019 年および 2020 年には ETF および地金、コイン需要が際立ち、2020 年には過去にない取引所在庫増加によってさらに増加した投資家需要は、2021 年第 2 四半期に 6 トンと好調でしたが、前年比では 50%減少しました。

ETF 保有高は、2021 年第 2 四半期に引き続き増加し、2021 年上期は 4 トン増加しました。北米および欧州の大幅増加が南アフリカの減少を相殺しました。健全な配当利回りから利益を得るため、ETF からプラチナ鉱山株式へのポジションの入れ替えが行われました。当四半期の地金およびコイン需要は依然として過去最高水準で、前年比 10%減の 3 トンとなり、取引所在庫は、マーケットメーカー銀行によるリスク軽減需要に対応し、2 トン増加しました。

当年は、投資需要は 16 トンと予想されています。これは 2020 年を 66%下回りますが、依然としてコロナ禍前の 2013 年以降の年間平均 15 トンを上回っています。

ワールド・プラチナ・インベストメント・カウンシルの CEO である Paul Wilson（ポール・ウィルソン）は、以下のように述べています。「年初来、経済活動の回復ペースは予想を超えています。プラチナの需要と供給の両方が増加し、このトレンドは年内続くと予想しています。

2021 年の予想を若干余剰に変更しましたが、これは、パンデミックが引き起こした前例のない激しい変化を踏まえたものです。現在、いくつかの異なるダイナミクスがみられます。短期的には、2020 年の工場停止中に累積した半製品の処理から生じた 2021 年および 2022 年の鉱山供給が一時的に増加しているため、供給が急増しており、需給バランスが崩れています。一方で、チップ不足により、自動車セクターの潜在的な成長が抑制されています。ただし、長期的には、その供給には確実な回復の兆しが見られ、特に工業および自動車セクターは恩恵を受けると考えられます。重量車の高ロードおよび生産増、パラジウムの代替としてのプラチナ使用の増加、工業需要の増加、急成長する水素経済に対する投資意欲の高まりにより、需要は成長する可能性は高いと考えられます。」

プラチナ需給バランス (トン)	2018	2019	2020	2021f	2020年/2019年 増減率 (%)	2021年度予測/2020年 増減率 (%)	Q2 2020	Q1 2021	Q2 2021
<b>供給</b>									
製錬高	191	190	155	188	-18%	21%	29	46	48
南アフリカ	139	137	103	137	-25%	33%	16	32	36
ジンバブエ	14	14	14	14	-2%	4%	3	4	4
北米	11	11	10	11	-5%	8%	3	3	2
ロシア	21	22	22	19	-2%	-12%	5	6	4
その他	6	5	6	6	19%	-4%	2	2	2
生産者製品在庫における増減 (+/-)	0	0	-3	-1	N/A	N/A	1	-1	1
鉱山からの総供給量	191	190	153	187	-20%	22%	30	45	49
<b>リサイクル</b>									
自動車触媒	60	66	59	60	-10%	2%	11	15	15
宝飾品	44	49	44	45	-10%	2%	8	11	11
工業	16	15	13	13	-11%	1%	3	4	3
その他	0	2	2	2	-2%	3%	0	0	0
総供給量	251	256	212	247	-17%	17%	42	60	64
<b>需要</b>									
自動車	96	88	74	90	-17%	22%	12	22	21
自動車触媒	91	88	74	90	-17%	22%	12	22	21
ノンロード	5	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑
宝飾品	70	65	57	59	-13%	4%	12	15	14
<b>工業</b>									
化学	60	66	61	76	-8%	25%	13	21	18
石油	18	22	18	21	-16%	14%	3	4	6
石油	7	7	3	6	-50%	65%	1	1	1
電気	6	4	4	4	-10%	3%	1	1	1
ガラス	8	7	12	20	65%	69%	3	9	3
医療	7	8	7	8	-4%	3%	2	2	2
その他	14	18	16	18	-14%	13%	3	4	4
<b>投資</b>									
地金、コインの増減	0	39	48	16	24%	-66%	12	5	6
ETF保有高の増減	9	9	18	11	107%	-38%	4	1	3
取引所在庫の増減	-8	31	16	3	-49%	-78%	4	3	1
取引所在庫の増減	-1	-1	14	2	N/A	-89%	4	1	2
総需要	226	259	239	241	-8%	1%	48	63	59
残余量	25	-3	-27	6	N/A	N/A	-7	-3	5
地上在庫	102	110**	83	89	-25%	7%			

出典：Metals Focus 2019 - 2021、SFA (Oxford) 2018 年

注記：

1. \*\* 2018 年 12 月 31 日現在の地上在庫 3,650 koz (114 トン) (Metals Focus)
2. † ノンロード自動車需要は自動車触媒需要に含まれます
3. Metals Focus および SFA(Oxford)のデータは、同一または直接比較で作成されているとは限りません
4. 2019 年以前の SFA のデータは、5,000oz 単位に四捨五入されています

メディア関連のご要望は、Elephant Communications にお問い合わせください

Guy Bellamy / Jim Follett / Charlotte Raisbeck  
wpic@elephantcommunications.co.uk

編集者への注記：

### 『Platinum Quarterly』について

『Platinum Quarterly』は世界のプラチナ市場を四半期毎に分析するもので、独立した立場で実施され無料で提供される業界初のレポートです。『Platinum Quarterly』は、ワールド・プラチナ・インベストメント・カウンシルの刊行物です。白金族金属市場の権威ある独立機関である Metal Focus への委託により実施された調査と詳細な分析に主に基づいて作成されています。

### World Platinum Investment Council (ワールド・プラチナ・インベストメント・カウンシル) について

World Platinum Investment Council Ltd. (WPIC、ワールド・プラチナ・インベストメント・カウンシル) は、現物プラチナ投資に関する世界市場の権威として、客観的で信頼できるプラチナ市場情報に対する、投資者の方々の強いご要望を受けて設立されました。WPIC の使命は、行動可能な見識と目標を定めた商品開発を通じて、現物プラチナに対する世界の投資需要を喚起することにあります。WPIC は、南アフリカの主要プラチナ生産者により 2014

年に創設されました。WPIC の加盟会社は、Anglo American Platinum（アングロ・アメリカン・プラチナ）、Impala Platinum（インパラ・プラチナ）、Northam Platinum（ノーザム・プラチナ）、Royal Bafokeng Platinum（ロイヤル・バフォケン・プラチナ）、Sibanye-Stillwater（シバニエ・スティルウォーター）、Tharisa です。

詳細については、ウェブサイト [www.platinuminvestment.com](http://www.platinuminvestment.com) をご覧ください。

WPIC 事務局住所：World Platinum Investment Council, Foxglove House, 166 Piccadilly, London, W1J 9EF

### Metals Focus について

Metals Focus は、世界の手貴金属コンサルティング会社の 1 つで、世界の金、銀、プラチナ、パラジウム市場に特化し、調査、定期レポートの発行、予測、個別のコンサルティング業務を行っています。Metals Focus チームは 8 つの法域に分散し、世界中に多数の情報源を有しています。これを活かし、Metals Focus は、貴金属市場に関する世界レベルの統計、分析、予測を提供することに専心しています。

詳細情報は、ウェブサイト [www.metalsfocus.com](http://www.metalsfocus.com) をご覧ください。

### プラチナについて

プラチナは世界で最も希少な金属の 1 つで、独特の品質を持つため、様々な需要分野において高く評価されています。プラチナ特有の物性および触媒活性は、工業利用においてその価値を確立しました。同時に、貴金属としての独特な特質のため、高級宝飾品にも使用されています。

プラチナには、主に鉱山での生産とリサイクルの 2 つの供給源があります。後者は使用済み自動車触媒と宝飾品のリサイクルによるものが主流です。過去 5 年間の年間プラチナ総供給量（精製済みオンス）の 72%~77%は、鉱山で生産されたものです。

世界のプラチナ需要は堅調で、ますます多様化しています。プラチナ需要の 4 大主要分野は、自動車、工業、宝飾、投資です。

自動車触媒における過去 5 年間のプラチナ需要は、総需要量の 31%から 43%の間を推移しています。自動車以外の工業分野でのプラチナの多様な使用は、世界総需要量の 24%となっています（過去 5 年間の平均）。同様に、宝飾品におけるグローバルな年間総需要は、平均で、プラチナ総需要の 28%を占めています。投資はプラチナ需要の中で最も変動が大きく、過去 5 年間は総需要の 0%から 20%を占めています（投資家が保有する未公表の保有残高の変動を除く）。

### 免責事項

World Platinum Investment Council および Metal Focus のいずれも、投資に関する助言を提供するための規制機関による許可を受けていません。本書のいかなる部分も、投資に関する助言、証券もしくは金融商品の販売の提案または購入の助言を意図するものではなく、そのように解釈されるべきでもありません。投資を行う前に必ず適切な専門家による助言を受けてください。詳細については、ウェブサイト [www.platinuminvestment.com](http://www.platinuminvestment.com) をご覧ください

-以上-